

令和5年度 事業報告

〔事業活動〕

令和5年3月27日（月）開催の理事会において承認（5月理事会で一部変更承認）を得た2023（令和5）年度事業計画に基づき各事業を推進した。その概要は以下のとおりである。

柱1 国際相互理解の促進

(1) 講演会、シンポジウム等の開催

ア 国際理解講演会等の開催

設立45周年を記念し、会員をはじめ道民の国際理解を深めるため、講演会を開催した。講演会終了後には交流パーティーを開催した。

日時 10月18日（水）

場所 札幌プリンスホテル国際館パミール

テーマ 『グローバル化とは何なのか-その本質と針路~世界とつながる北海道として、真剣に考えておくべきこと~』

講師 (一財)日本総合研究所会長
寺島 実郎 氏

参加者 約250名

後援 北海道、札幌市、(公財)札幌国際プラザ、北海道新聞社、
毎日新聞社北海道支社、朝日新聞社、読売新聞社

イ 北方圏講座の開催

北方圏諸国の産業経済や生活文化等に関する蓄積を学び、地域づくりに関する情報交換を図るため、関係機関と連携しセミナーを開催した。

① 第1回 北海道立女性プラザの「女性プラザ祭2023」と連携して開催

日時 11月9日（木）

場所 かでる2・7 4階大会議室

テーマ 「幸福度6年連続1位のフィンランドは本当に幸せな国なのか」

講師 駐日フィンランド共和国大使館広報部プロジェクトコーディネーター
堀内 都喜子 氏

参加者 80名

共催 北海道立女性プラザ

後援 在日フィンランド共和国大使館

② 第2回 「フィンランド共和国独立記念日講演会」

日時 11月23日（木・祝）

場所 札幌ガーデンパレス 2階 孔雀の間

テーマ 「ビジネスマンが見た『世界一幸せな国』フィンランドの30年」

講師 在札幌フィンランド共和国名誉領事館名誉領事 笠間 聖司 氏

参加者 60名

共催 北海道フィンランド協会

後援 在札幌フィンランド共和国名誉領事館

- ③ 第3回 「北海道フィンランド協会セミナー」と連携して開催
 日 時 1月24日（水）
 場 所 かでる2・7 10階 1060号室
 テーマ「フィンランドにおける有事への備え-国民保護の体制とシェルター事情-」
 講 師 駐日フィンランド共和国大使館
 武官補佐 マキ ロヒルオマ・トゥーッカ 氏
 参加者 45名
 共 催 北海道フィンランド協会
 後 援 在札幌フィンランド共和国名誉領事館
- ④ 第4回 「北海道スウェーデン協会新春講演会」
 日 時 2月1日（木）
 場 所 アスティ45 13階 開発工営社会議室
 テーマ 「スウェーデンのコロナ対策から学ぶ～国民の信頼をもとに」
 講 師 天使大学兼任講師・スウェーデン研究者 渡辺 まどか 氏
 参加者 30名
 共 催 北海道スウェーデン協会
- ⑤ 第5回 「カナダ・セミナー」と連携して開催
 日 時 2月15日（木）
 場 所 かでる2・7 8階 820号室
 テーマ「カナダのインド太平洋戦略とCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）について」
 講 師 駐日カナダ大使館公使ルイ・ピエール・エモン氏、
 // 一等書記官 ペンテラ・ピヤコ 氏
 参加者 55名
 共 催 カナダ政府札幌通商事務所
 後 援 駐日カナダ大使館

ウ 北太平洋地域研究事業（国際セミナー等の開催）

道内経済団体や交流関係団体、大学等と連携し、北東アジア等の政治経済・外交関係などをテーマとしてシンポジウムを開催した。

第12回 北海道で考える北東アジア国際情勢シンポジウム

- 日 時 3月13日（水）
 形 式 オンライン
 テーマ 「～ロシア・ウクライナ戦争の東アジアへの影響を考える～」
 講 師
 報 告 者 防衛省防衛研究所 研究幹事 兵頭 慎治 氏
 報 告 者 広島市立大学広島平和研究所 専任講師 加藤 美保子 氏
 参加者 65名
 後 援 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター、NPO法人ロシア極東研

(2) 国際関係情報の収集・提供

ア 調査研究・資料収集事業

対外経済交流関係の各種事業への参画や調査・情報収集を行い、ホームページや「Hoppoken」誌上等で成果を発表した。

イ 国際情報ネットワーク事業

ホームページを活用して国際交流等の情報や事業報告などをタイムリーに提供するとともに Facebook で主催事業等の告知を行い、広く周知に努めた。

ウ 年報発行

特集記事や事業報告などを掲載した。
9月に発行し、会員や関係団体、市町村等へ配付した。

エ 「Hoppoken(北方圏)」誌の発行

会員をはじめとした道民に、国際理解の促進に資する情報や、国際交流等の取組に関する情報提供を目的に、年2回、各1,200部発行した。

① 194号 9月発行

特集—ベネチア・ビエンナーレ 多様性を示す「最先端のアート」
その他—「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」を振り返って
—「幅広い知識と豊かな国際感覚を持つ青少年の育成-北海道の小さな財団の半世紀-」

② 195号 3月発行

特集—「ハイエック設立45周年特集号」
記念講演「グローバル化とは何なのか その本質と針路」
(一財)日本総合研究所会長 寺島実郎 氏
その他—「変化が『速すぎる隣人』ダイナミック・コリアの実像」

オ 国際情報発信事業

道内の多文化共生や国際交流・協力に関する取組などをホームページで紹介した。

(3) 海外派遣研修

ア 海外派遣事業

道内企業の国際化を支援するため、経済交流をテーマに、道内企業のグローバル化を支援するため、道内企業等の職員をシンガポール及びベトナムに派遣し、経済事情や民族共生等に関するレクチャーのほか、海外パートナーシップや海外進出を行っている企業や大学など現地視察や関係者との意見交換を行った。

日時 1月14日(日)～1月21日(日)

参加者 企業等職員 5名

研修会等 事前研修会1回、報告書

イ 高校生・世界の架け橋養成事業

道内高校生が、日本・北海道とアジアとの結びつきや多文化共生、海外勤務のキャリアについて知見を得る機会を創出し、将来的に様々な分野で活躍できる人材の育成に寄与すべく、「高校生世界の架け橋養成事業」を実施した。

日時 1月10日(水)～1月19日(金)

訪問国 マレーシア(クアラルンプール、ペナン、テメルロー)

参加者 高校生8名(男子生徒1名、女子生徒7名)

研修会 事前研修3回(オンラインで実施)

報告会 3月29日(金)

ウ 済州国際青少年フォーラム 2023

北海道と友好提携地域である韓国・済州特別自治道が主催する国際的な視野を持つ未来のグローバルリーダーの育成と青少年のネットワークづくりを目的としたフォーラムへ参加した

日 時 10月31日(火)～11月4日(土)
参加者 高校生4名(13ヵ国43地域約150人の参加)
研修会 事前研修1回
報告会 3月28日(木)

(4) 多文化共生の推進

ア 多文化共生ネットワーク連携推進協議会との連携

道内国際交流団体間ネットワークの連携強化に取り組むとともに、協働して多文化共生の実現に資する事業を実施した。

構成団体(13団体)

(一財)北海道国際交流センター、室蘭工業大学国際交流センター、
(一社)滝川国際交流協会、旭川市国際交流委員会、釧路国際交流の会、
北見工業大学国際交流センター、十勝インターナショナル協会、
留学生フレンドシップ、(一社)ニセコプロモーションボード、
恵庭国際交流プラザ、石狩国際交流協会、江別市国際交流推進協議会、
(一社)北海道多文化共生NET

①オンライン会議 6月12日(月) 12団体16名

ハイエックが今年度予定している多文化共生事業について説明し、実施に向けて各構成団体の協力を要請した。

テーマ ・各団体における令和5年度の主な取り組みについて
・令和5年度多文化共生に係る地域連携事業について

イ 多文化共生の各種取組

道内各地域において外国人との共生に向けた環境づくりを一層推進するため、各種事業を実施した。

① 多文化共生啓発事業(講演会)

北海道の少子高齢化が全国を上回るスピードで進む中、外国人も地域社会を構成する一員として、地域の発展・活性化に資することを目的に講演会を開催した。

・稚内市 日 時 10月2日(月)
参加者 35人
テーマ 「世界とつながる持続可能な地域づくり
～外国人とともにつくる宗谷の未来～」
講 師 一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事 田村太郎 氏

・苫小牧市 日 時 2月7日(水)
(共催) 参加者 105人
テーマ 「企業における外国人雇用・受入れに必要な視点」
講 師 一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事 田村太郎 氏
テーマ 「外国人雇用で持続可能な職場づくり」
講 師 株式会社 菅原工業 代表取締役社長 菅原 渉 氏

② 北海道原子力防災総合訓練への在住外国人の参加

北海道が実施した「北海道原子力防災訓練」の一環で、蘭越町の在住外国人、同町を訪問している外国人観光客が避難所に避難するとともに、同町職員による被害状況の説明や避難所での受付対応を行うとともに、外国人相談センターとオンラインで連携し通訳を介した情報伝達、避難所からの相談対応等の訓練をそれぞれ行った（北海道委託事業）。

- ・ 在住外国人対応

日 時 10月25日（水）

場 所 蘭越町町民センター（避難所）、相談センター

参加者 外国人 11人

- ・ 外国人観光客対応

日 時 2月14日（水）

場 所 蘭越町昆布活性化センター（避難所）、相談センター

参加者 外国人 7人

③ 在住外国人向け防災教室

在住外国人が災害時の行動などについて知識を得るための防災教室を、宗谷総合振興局等と連携し開催した。

日 時 11月10日（金）

場 所 稚内市みどりスポーツパーク

参加者 外国人 23人

④ 北海道防災総合訓練への在住外国人の参加等

日本海溝・千島海溝の地震を想定した防災総合訓練において、大樹町職員が避難所で在住外国人の受付対応を体験したり、在住外国人が災害のセミナーを受けたり、段ボールベッドの組立、非常食体験などをした。

日 時 12月19日（火）

場 所 大樹町歴舟コミュニティセンター（避難所）

参加者 外国人 37名

⑤ 災害時外国人対応力向上研修

災害時における外国人支援として、自治体職員向けに対応力向上を目的とした研修会を十勝総合振興局と共催した。

日 時 2月27日（火）

場 所 帯広市

内 容 講義： 災害時における外国人支援

ワークショップ： 避難所における外国人対応

ウ 北海道多文化共生アワード（表彰事業）

道内在住の外国人と道民がともに地域の発展や活性化に貢献できる社会を実現するため、人材育成、居住環境、防災、教育、地域づくりなどさまざまな分野において顕著な取組を行っている団体を表彰することとしたが、令和5年度は応募がなかった。

エ 「北海道外国人相談センター」等の運営

「北海道外国人相談センター」を運営し、道内在住外国人等のさまざまな相談に対応した（北海道委託事業）。

体制：常勤4名～センター長、副センター長、主任相談員・相談員（英語）
シフト21名～多言語相談員（英・中・韓・ベトナム・タガログ・タイ・インドネシア・ウクライナ）

対応言語：電話通訳システムを活用し、11カ国語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ロシア語、ミャンマー語）に対応

開所時間：平日（午前）9：00～12：00（午後）13：00～17：00

ホームページ：<http://hiecc.or.jp/soudan>

対応SNS：Facebook、WeChat、Skype、LINE、KakaoTalk、WhatsApp、ほか

相談者数：1,911人

相談件数：2,521件

相談者の国籍：

国籍	人数	国籍	人数	国籍	人数
日本	171	フィリピン	96	ウクライナ	39
中国	220	タイ	17	アジア諸国	181
台湾	17	カンボジア	0	アフリカ諸国	53
韓国	26	ミャンマー	15	ヨーロッパ	201
ベトナム	208	モンゴル	3	北米（アメリカ、カナダ等）	249
ネパール	13	ブラジル	6	南米（アルゼンチン）	14
スリランカ	18	ペルー	0	オセアニア	46
インドネシア	28	ロシア	10	不明	280
				合計	1,911

主な相談内容：

分野	件数	分野	件数	分野	件数
入管手続（更新、切替等）	575	日本語学習	46	マイナンバー	15
雇用・労働	271	防災・災害	1	ウクライナ関係	47
社会保険・年金	186	住宅	103	コロナウィルス関係	15
税金	190	身分関係（結婚/DV等）	69	手続一般	37
医療	101	交通・運転免許	196	その他	445
出産・子育て	39	通訳・翻訳	153	合計	2,521
教育（学校・大学等）	29	福祉	3		

① 移動相談会の開催 道内各振興局地域で移動相談会を全20回開催した。また、移動相談会に合わせ、外国人から関心の高い「年金」や「税金」等に関するテーマについてセミナーを開催した

後志総合振興局	倶知安町	5月13日（土）～	起業に関するセミナー
十勝総合振興局	帯広市	5月20日（土）	
釧路総合振興局	釧路市	5月21日（日）～	日本語学習に関するセミナー
渡島総合振興局	八雲町	6月10日（土）	
	函館市	6月11日（日）～	就職に関するセミナー

オホーツク総合振興局	北見市	7月8日(土)	／	紋別市	7月9日(日)
根室振興局	根室市	8月5日(土)			
	中標津町	8月6日(日)	～	就職に関するセミナー	
留萌振興局	留萌市	9月3日(日)			
日高振興局	浦河町	9月10日(日)	～	永住者申請に関するセミナー	
宗谷総合振興局	稚内市	10月1日(日)			
後志総合振興局	倶知安町	10月21日(土)	～	在留資格に関するセミナー	
胆振総合振興局	苫小牧市	11月11日(土)	～	日本語学習に関するセミナー	
	室蘭市	11月12日(日)			
石狩振興局	江別市	12月9日(土)	～	日本語に関するセミナー	
	石狩市	12月10日(日)	～	日本語学習に関するセミナー	
空知総合振興局	滝川市	12月16日(土)			
上川総合振興局	旭川市	1月13日(土)	～	日本語に関するセミナー	
	富良野市	1月14日(日)			
	東川町	1月26日(金)	／	占冠村	1月27日(土)
十勝総合振興局	帯広市	1月28日(日)	～	防災・年金に関するセミナー	
釧路総合振興局	釧路市	2月18日(日)			
後志総合振興局	倶知安町	3月2日(土)	～	仕事等に関するセミナー	

② 休日相談会 移動相談会のほか、休日相談会を全12回開催した。

4月23日(日)	8月20日(日)	12月17日(日)
5月28日(日)	9月30日(土)	1月21日(日)
6月25日(日)	10月29日(日)	2月17日(土)
7月23日(日)	11月26日(日)	3月17日(日)

③ ウクライナ情勢を踏まえ、「北海道ウクライナ関連ワンストップサポート窓口」において、道内に避難しているウクライナ人の方々などからの相談対応を行った。

オ ウクライナ避難民支援事業

① 日本語学習支援

道内に滞在し日本語学習支援を希望する避難民に対し、生活する地域で孤立することがないように、日本語でコミュニケーションを図るための支援を、一般社団法人北海道日本語センター等へ委託し提供した。

対面式日本語学習 毎週1回(札幌、石狩)、ほか

オンライン式日本語学習 毎週1回(札幌、稚内、八雲、千歳)

② 生活サポート等支援

・生活サポート支援

北海道で生活する上で必要な助言や通訳、相談など生活のサポートを行った。

・レクリエーション事業

北海道の特色のある地域に赴くなどし、避難生活のストレス軽減を目的としてレクリエーションとしてさまざまな体験を支援した。

③ 生活費等支援事業

日本国際連合協会北海道本部よりウクライナ避難民支援募金を引き継ぎ、ウクライナから北海道に避難する避難民に生活費等の支援金を支給した(1人)。

カ 日本語教育推進事業

道内在住の外国人の日本語学習を支援する人材を養成する講座を、(一社)北海道日本語センターの協力を得ながら道内各地で開催した。(北海道委託事業)

- ・ 雄武町 (全3回)
 - 8月20日(日) 道の駅おうむ 参加者 22人
 - 27日(日) 道の駅おうむ 参加者 19人
 - 9月3日(日) 道の駅おうむ 参加者 31人 (うち外国人18人)
- ・ 栗山町 (全3回)
 - 10月6日(金) くりふと 参加者 35人
 - 10月13日(金) 栗山町役場会議室 参加者 39人
 - 10月20日(金) 栗山町役場会議室 参加者 52人 (うち外国人12人)
- ・ 増毛町 (全2回)
 - 1月28日(日) 増毛町文化センター 参加者 13人
 - 2月4日(日) 増毛町文化センター 参加者 17人 (うち外国人5人)

柱2 国際交流の推進

(1) 諸外国との各種交流の実施

南米ふるさと訪問団受入事業

北海道出身移住者子弟からなるブラジルからの訪問団を受け入れ、父祖の地・北海道についての理解を深め、一層の友好親善に資するため、本道関係者との交流や文化施設の視察等を実施した。

受入期間 1月30日(火)～2月6日(火)

人数 6名

(2) 留学生と道民との交流

ア 外国人留学生国際交流支援事業

北海道内の大学・大学院に在籍する外国人留学生の中から50名を「留学生サポーター」として選定し、母国の学生等に向けて北海道での留学生活に関する情報発信を行うことにより、本道への留学受入れを促進した(留学生サポーターには情報発信活動費として5万円を支給)。

・ 投稿件数 385件 (ハイエック HP より閲覧可)

イ 外国人留学生受入促進事業

外国人留学生の受入れを促進するため、海外の関係機関や大学・学生等に対し、道内大学のプロモーションを行った。

- ① プロモーションサイトの運営 (<http://study-hokkaido.com>)
- ② 留学ガイドブックの作成、配付
- ③ 留学プロモーション

ベトナムの2都市で開催された日本留学フェア(主催:日本学生支援機構)に参加し、学生等へのプロモーションを行うとともに、北海道の大学のPR資料を配付した。

11月25日(土) ホーチミン会場

11月26日(日) ハノイ会場

- ④ 帰国留学生及び奨学金受給留学生向けメールマガジンの発行
帰国した外国人留学生等に対し、北海道の今の様子や就職など各種情報を提供するメールマガジン「ハイエックニュースレター」を発行し、本道への理解促進を図った（年3回）。

ウ 留学生地域交流の実施

外国人留学生の北海道に対する理解の促進を図り、地域の担い手として定着を促進するため、地域住民との交流や産業体験等を行った。

- ① 「北海道留学生ふれあい交流 in 留萌」
日 時 7月29日（土）～30日（日）
場 所 留萌市
参加者 留学生22名（17ヵ国・地域）
- ② 「北海道留学生ふれあい交流 in 積丹」
日 時 11月18日（土）
場 所 積丹町
参加者 留学生10名（7ヵ国・地域）
- ③ 「北海道留学生ふれあい交流 in 北見」
日 時 2月9日（金）～10日（土）
場 所 北見市
参加者 留学生21名（13ヵ国・地域）

エ 留学生支援体制構築事業

外国人留学生の地域定着を図るため、自治体や大学と連携し、企業での職場体験や人事担当者等との意見交換を行った。

- 日 時 12月8日（金）
場 所 北広島市
連携先 北広島市、星槎道都大学
参加者 星槎道都大学の留学生16名
訪問先 北広島市西部中学校、北広島団地地域サポートセンターともに、
北広島クラッセホテル

(3) 海外移住者への支援

ア 移住者支援事業

北海道出身移住者などで組織する道人会等の活動支援するため助成した（4団体）

- 〔ブラジル北海道文化福祉協会、在アルゼンチン北海道人会、
全パラグアイ北海道人会連合会、北海道海外移住家族会〕

※サハリン道人会は諸事情により休止

イ 移住者子弟留学生・研修員受入事業

南米圏の北海道出身移住者の子弟を留学生および技術研修員として受け入れ、研究や技術研修を行った。

- ① 留学生受入 1名（アルゼンチン）
留学先 北海道大学院メディア・コミュニケーション研究院
- ② 研修員受入 1名（アルゼンチン）
研修先 宮島学園北海道調理師専門学校

(4) 各種交流事業への助成

世界各地域との交流を促進し、北海道の生活文化や産業経済の発展に寄与するため、道内の交流団体等が実施する各種交流事業に助成した。

令和5年度補助実績

助成対象事業名	主催者	助成額 (千円)
北海道イタリア彫刻作品保存修復にかかる技術交流事業	(特活) アルテピアッツァびばい	106
北海道・フィンランド交流「アイノラのつどい Vol.24」 & ワークショップ	日本シベリウス協会北海道支部	150
北海道+スウェーデンアート'23	同実行委員会	300
第15回日台友好合唱会	同実行委員会	100
ヨーロッパ空手セミナー	一般社団法人北海道極真武道会	150
計 5事業		806

(5) 地域、諸団体との連携

ア 地域連携ネットワーク事業

各地域や交流団体間の連携を促進するため、多文化共生ネットワーク協議会の構成団体と共催し多文化共生に関する取り組みを行った。

① 在留外国人と地域住民との交流「たきかわまちあるき」 / 「スポーツ交流」

ア) 「たきかわまちあるき」

日時 7月23日(日) たきかわ観光国際スクエア及び滝川市内

参加者 24人(外国人8人、日本人16人)

共催 一般社団法人 滝川国際交流協会(滝川市)

イ) 「スポーツ交流」

日時 9月10日(日) 石狩川河川敷パークゴルフ場

参加者 26人(外国人11人、日本人15人)

共催 一般社団法人 滝川国際交流協会(滝川市)

② 「在留外国人に対する日本体験事業」

日時 8月6日(日) 石狩八幡神社、ほか石狩市内

参加者 18人(外国人10人、日本人8人)

共催 NPO法人 石狩国際交流協会(I. I. A)

③ 「在留外国人と行く夕日クルーズ体験学習・交流会」

日時 9月10日(日) 釧路川河口～釧路港

参加者 38人(外国人14人、日本人24人)

共催 釧路国際交流の会

④ 「世界市民の集い」

日時 10月15日(日) 江別市野幌公民館

参加者 250人(外国人40人、日本人210人)

共催 江別国際交流推進協議会

⑤ 「企業と在留外国人との意見交流会」

日時 令和6年1月17日(水) 北海道教育大学・函館校

参加者 21人(外国人16名、日本人5人)

共催 一般財団法人 北海道国際交流センター

- ⑥「十勝外国人生活講座（防災・年金）」
 日 時 令和6年1月28日（日） とかちプラザ
 参加者 5名
 共 催 十勝インターナショナル協会
- ⑦「外国人を採用し地域のチカラへ（講演会等）」
 日 時 令和6年2月6日（火） 室蘭市中小企業センター
 参加者 48人（外国人9人、日本人39人）
 共 催 いぶり外国人フレンドシップ
- ⑧「マジックを通じて外国人と交流しよう」
 日 時 令和6年3月10日（日） 白老町中央公民館
 参加者 41人（外国人11人、日本人30人）
 共 催 一般社団法人 北海道多文化共生NET

イ 関係団体との連携による交流事業

- ① 全国中国語スピーチコンテスト北海道大会
 日 時 10月21日（土） かでの2.7・北3条広場
 共 催／北海道日中友好協会
- ② インターナショナルナイト
 世界各国の留学生がそれぞれの国の歴史や文化、自然や社会、教育事情等について日本の高校生を対象にプレゼンテーションを行い、相互理解を促進する場として開催した。
 日 時 12月10日（日） かでの2.7、京王プラザホテル
 参加者 日本人217人、外国人26カ国46人
 共 催／北海道青少年科学文化財団
- ③ 国際交流「DAY」事業
 北海道と姉妹・友好提携地域とのより一層の交流拡大を図るため、北海道と共催して、各提携記念日等にそれぞれの地域の文化紹介イベントを開催した。
- ・ 米国・ハワイ州 R5.5.10～5.15 札幌三越
 - ・ 韓国・4地域（釜山広域市、慶尚南道、ソウル特別市、済州特別自治道）
R5.8.1 札幌パークホテル
 - ・ カナダ・アルバータ州 R6.1.15～1.16 道庁1階特設展示場
 - ・ 米国・マサチューセッツ州 R6.1.15～1.16 道庁1階特設展示場
 - ・ 中国・黒竜江省 R6.3.7～3.8 道庁1階特設展示場
 - ・ タイ・チェンマイ県 R6.3.16 札幌ドーム
- ④ 国際交流定例講演会
 北海道国際女性協会と共催し、定例講演会を開催した。
- ・ 第1回 「世界と北海道環境・エネルギー課題をどう対応できますか？」
 日 時 5月26日（金）
 参加者 24人
 - ・ 第2回 「アメリカの紹介とアメリカ人から見た日本」
 日 時 9月27日（水）
 参加者 34人
 - ・ 第3回 「日本語スピーチ発表会」
 日 時 10月11日（水）
 参加者 39人

- ・第4回 「日本文化を紹介する会」
日 時 11月26日(日)
参加者 40人
 - ・第5回 「国際交流から共生社会に向けて」
日 時 1月22日(月)
参加者 28人
- ⑤ 第7回国際ユースフォーラム(IFY)札幌
北海道日米協会と共催し、高校生を対象としたユースフォーラムを開催した。
日 時 11月19日(日) 京王プラザホテル
参加者 高校生 60人

柱3 国際協力の推進

(1) 開発途上国向けのJICA研修事業への参画

JICA 北海道国際センター（札幌）が実施する研修事業の一部を受託し、研修実施機関とのカリキュラムの調整や研修のコーディネートを行った。新型コロナウイルスが第5類に移行したことから、全研修対面形式で実施した。

期 間	研修コース名	人数
6月5日～7月29日	課題別（上水道施設技術総合(B)）	3
8月15日～9月13日	課題別 中南米地域 道の駅による道路沿線地域開発	8
9月19日～年10月27日	課題別（道路維持管理（E））	6
10月13日～10月20日	PROCEED 西ナイル難民受入・影響地域開発計画策定・実施能力強化研修（北海道内研修）※株式会社片平エンジニアリング・インターナショナルからの再委託	14
4月1日～3月31日	草の根「ネパール国ポカラ市給配水管理業務の体系化を目指した技術協力事業」 ・第1回札幌研修（受入） ネパール水道公社総裁等7名 8月21日～8月31日 ・現地研修現地事前調査・調整（派遣） HIECC職員1名 11月27日～12月8日 ・第1回現地研修（派遣） 札幌市水道局職員等15名 1月29日～2月12日	—

(2) 海外からの研修員等の受入（再掲 P9 (3)-イ）

南米圏の北海道出身移住者の子弟を留学生および技術研修員として受け入れ、研究や技術研修を行った。

- ① 留学生受入 1名（アルゼンチン）
留学先 北海道大学院メディア・コミュニケーション研究院
- ② 研修員受入 1名（アルゼンチン）
研修先 宮島学園北海道調理師専門学校

4 ハイエック後援事業

No	実施日	事業名	主催団体
1	6/18	JICAfe 2023 in くしろ	JICA 北海道センター（帯広）
2	9/24	第7回 インターナショナルゴミ拾い ビーチウォーク	（特活）北海道海濱美化をすすめる會
3	10/20～21	北海道国際協力フェスタ 2023	北海道 NGO ネットワーク協議会
4	11/3	JICAfe 2023 in なかしべつ	JICA 北海道センター（帯広）
5	11/3～5	第44回 NHK 杯カーリング選手権大会	同実行委員会
6	11/16	創立 35 周年記念特別企画 Harvest HIMES Vol. 2 「Bon Voyage!」	北海道国際音楽交流協会（ハイメス）
7	11/28～30	第39回寒地技術シンポジウム	（一社）北海道開発技術センター
8	2/7～12	第65回旭川冬まつり	同実行委員会
9	2/10	第34回おおたき国際スキーマラソン	同実行委員会
10	2/18～21	第38回北方圏国際シンポジウム	同実行委員会
11	2/24～25	第35回昭和新山国際雪合戦	同実行委員会

〔管理部門〕

1 会員の状況

令和5年度においては、新規の加入が8件（個人会員4件、法人会員4件）、退会が23件（個人会員11件、法人等会員12件）あり、会員数は15減となった。

区 分		令和5年度 当初会員数	増 減			令和5年度末 会員数
			入会数	退会数	差引増減	
個人 会員	一般会員	79	3	10	△7	72
	学生等会員	0	0	0	0	0
	主婦(夫)等会員	1	0	0	0	1
	シニア会員	22	1	1	0	22
	特別会員	2	0	0	0	2
	個人会員計	104	4	11	△7	97
法人等会員		433	4	12	△8	425
合 計		537	8	23	△15	522

2 新たな取り組み（案）

- ① 学生会員の会費を2,000円から1,000円に引き下げ
- ② QRコードによる入会システムの構築

3 会議の開催

令和5年度の開催状況は次のとおり。

(1) 理事会

ア 第1回理事会

令和5年5月 書面決議

内容 令和4度事業報告を承認
令和4度決算を承認
令和5年度事業計画の一部変更及び予算の補正を承認
公益法人の変更認定申請を承認
通常総会の招集を議決

イ 第2回理事会

令和5年6月26日(月) 16:06～ 京王プラザホテル札幌

出席 理事総数24名のうち13名、監事2名のうち2名

内容 副会長、専務理事の選定

副会長兼専務理事 長谷川 浩幸

ウ 第3回理事会

令和6年3月27日(水) 13:30～ ホテル札幌ガーデンパレス

出席 理事総数24名のうち15名、監事2名のうち1名

内容 令和6年度事業計画及び予算を承認

予算の補正に関する専決処分を承認

顧問の委嘱を承認

新顧問 柿崎 恒美 北海道開発局長

(2) 総会

令和5年度通常総会

令和5年6月26日(月) 15:00～ 京王プラザホテル札幌

出席 会員総数522のうち400 (出席57、委任状出席343)

内容 令和4年度決算を承認

令和4度事業報告を報告

令和5事業計画及び予算の理事会決定を報告

現役員の退任に伴う新たな理事の選任(4名)

新理事 高橋 彩 (北海道大学理事・副学長)

長谷川浩幸

平木 浩昭 (札幌国際プラザ副理事長)

宮崎 博美 (北海道国際女性協会会長)

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないため、作成しない。